



たらきょう しょうねんだん たより 多良峡もみじ少年団 便り



多良峡もみじ少年団の設立

5月3日に緑の村公園で開催された第38回岐阜県みどりの祭りの開催に合わせ多良地区でみどりの少年団「多良峡もみじ少年団」が設立されました。当初、宮地区の子供たちで設立しましたが、多良地区の全自治会にも呼びかけ募集をし新しい仲間も増えました。今後11月に予定している多良峡もみじ植栽をメインのイベントとして活動していきます。

第38回岐阜県みどりの祭りに参加！

岐阜県みどりの祭りに多良峡もみじ少年団から6名が参加しました。式典では6年生の団員が開会の言葉を述べたあと5年生の団員が4旗掲揚、5年生の副団長が少年団の団旗の授与を受けました。また招待者の植樹アテンドとして3年生2名2年生1名の団員が県会議員の植樹のお手伝いをしました。みどりの少年団のユニフォームに身を包んだ団員は、少々緊張気味でしたが式典参加や植樹アテンドの役割を地元上石津の少年団として立派に成し遂げました。この貴重な経験は、子供たちの記憶にしっかりと刻まれたと思います。

当日の様子は、岐阜県の森林・林業が紹介されている冊子、森林のたよりで紹介されています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11511/ringyou/657/657-01.pdf>

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11511/ringyou/657/657-02.pdf>

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11511/ringyou/657/657-03.pdf>



多良峡もみじホームページ作成

多良峡もみじの名所作り実行委員会のホームページが作成されました。

ホームページのURL(住所)は <http://www.tarakyo-momiji.com>

連絡用メールアドレスは info@tarakyo-momiji.com

今後、実行委員会での取り組みや最新の多良峡の様子、植栽したもみじの発育状況、イベントなどとともにみどりの少年団の活動についても情報発信される予定です。

多良峡もみじのキャラクター決まる！

多良峡もみじをアピールしていくためにイメージキャラクタ(こようくん)が設定されました。こようくんの由来は真っ赤に色づいたもみじの様子「紅葉」からきています。愛くるしい親しみのある顔で今後「多良峡もみじ」をアピールしていきます。



スポーツ少年団とみどりの少年団の違い

スポーツ少年団は、日本体育協会が創設した青少年スポーツ団体で、小学生10人以上の団員と20歳以上で有資格の指導者が必要、毎年登録が必要です。緑の少年団は、次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体で、他のスポーツ少年団に加入していても加入できます。学校型、地域型があり多良峡もみじ少年団は、地域に密着した地域型として設立されました。組織としては、岐阜県みどりの少年団連盟、全国みどりの少年団連盟があります。

第33回東海地区みどりの少年団サマージャンボリーに参加

7月29日(火)～31日(木)の3日間、関ヶ原町にある青年の家において東海地区みどりの少年団サマージャンボリーが開催されます。このサマージャンボリーは、東海3県の持ち回りで今年は岐阜県の開催となりました。体験型のイベントで子どもたちが実際に間伐を体験したり、クラフトで木の作品を制作したり、「木」にふれあう内容になっています。これは、岐阜県を含め各自治体で注目しつつある「木育」という考え方にもつながっています。岐阜県立森林文化アカデミーの教授、学生、森林インストラクター、聖徳学園大学の教育研究サークル等、多くのスタッフのサポートを受けられる予定です。

今回は、多良峡もみじ少年団からも5年生2名の参加が予定されています。サマージャンボリーの様子は、また次号の便りで紹介予定です。

岐阜県みどりの少年団交流集會に参加

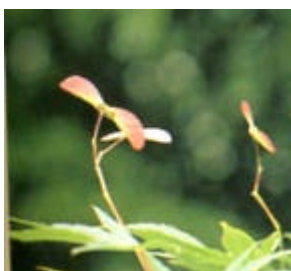
8月8日(金)に美濃市の岐阜県森林文化アカデミーで開催される岐阜県みどりの少年団交流集會に、多良峡もみじ少年団の代表が参加します。多良峡もみじ少年団は、設立したばかりです、岐阜県には桜の植樹をしたり総理大臣表彰を受けるなど素晴らしい活動をされているみどりの少年団がたくさんあります。そんな他の少年団の活動報告を聞いて自分たちも、こんなことをしていこうなどのきっかけになればと考えています。当日は、多良峡もみじ少年団からも5名の参加を予定しています。

多良峡もみじ植栽イベントについて

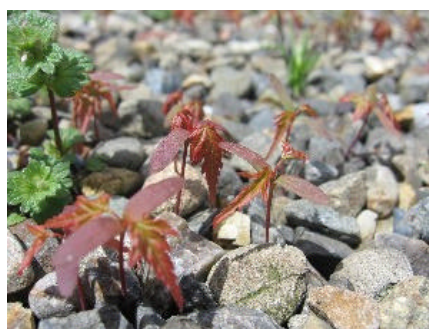
昨年11月25日に多良峡森林公園で開催されたもみじ植栽イベントですが、今年は11月22日(土)に予定されています。企業と市民参加の協働による森作りの第一回目のイベントとなります。大垣市長、セイノーホールディング(西濃運輸)田口福寿会の田口会長の記念植樹が予定されています。少年団の植樹アテンドも必要かと思われるので、多良峡もみじ少年団の活躍の見せどころです。詳細の計画が決まり次第またみなさんにも連絡させていただきます。

もみじの豆知識

もみじってどうやって増えるか知ってますか?もみじの木で育った種が風に乗って遠くまで運ばれ芽を出すのです。我が家の庭にも東高木家の屋敷跡から飛んできた種がたくさん芽を出しています。100mほど離れていますが、ちょうどヘリコプターの羽根のような形をしていてクルクルと回りながら飛んでくるのです。採取した種から芽を出させようとするには、水に入れ水分を含ませ冷蔵庫の中で低温で保管し蒔いてやります。多良峡に植えるもみじは、自然にこぼれ落ちて高木家の屋敷跡の砂利の間に生えた苗を育てています。



もみじの種



砂利の間から芽をだしたもみじ

多良峡もみじ少年団団員募集中! 事務局 大嶽まで

発行: 多良峡もみじ少年団事務局 責任者: 大嶽 喜久

〒503-1625 大垣市上石津町宮

TEL 090-3***** eメール: info@tarakyo-momiji.com

